

高木復興大臣ぶら下がり記者会見録
(平成28年3月27日(日) 11:35～11:40 於) 福島県福島市)

1. 発言要旨

よろしく申し上げます。

本日の協議会では、復興庁からは福島復興再生にかかる取組状況、原子力災害対策本部からは原子力災害からの福島復興の加速に向けた取組及び福島第一原発の廃炉・汚染水対策の状況、環境省からは除染・中間貯蔵施設等の現状について説明するとともに、福島県からは復興創生期間の福島復興再生に向けたお考えについて御説明をいただき、地元の出席者の方々も交えて、率直な意見交換を行わせていただきました。

具体的には、避難地域、浜通りの復興再生のため、イノベーション・コースト構想の早期具体化、医療介護提供体制の再構築、地域公共交通や治安の確保などの生活環境整備、事業・なりわい再生への支援、常磐自動車道4車線化などのインフラ整備を加速して欲しい、といったお話し。あるいはまた、風評払拭、風化防止のため、国内外に向けた正確な情報発信の継続、農林水産物の継続した検査と輸入規制撤廃に向けた各国政府への働きかけ、教育旅行、外国人観光客の回復に向けた対策を強化して欲しい、また、原発事故対応のため、廃炉・汚染水対策の強化、除染の確実な実施、中間貯蔵施設の整備及び本格搬入を進めるとともに、再生可能エネルギー先駆けの地実現に向けた取組を推進して欲しい。また、こうした地元の意向を踏まえて、福島復興再生基本方針を改訂して欲しい、こういった御意見を頂いたところでございます。

本日の協議会で承りました福島県及び市町村を初め、地元の方々の御意見を踏まえて、引き続き必要な予算を確保しながら、ふるさとの復興再生が実感いただける環境を、関係省庁と連携しながら整えてまいりたいと考えているところでございます。

私からは以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 大臣が冒頭の発言でもおっしゃってございましたけれども、風評被害に関するタスクフォースを近々立ち上げるということですが、メンバーと、それから時期等、もう少し詳細をお聞かせ願えますか。

(答) これはもう既にあるタスクフォースでございますので、そのメンバーでやらせていただきます。もう本当に近々、予定いたしております。近々発表もさせていただきたいというふうに思います。

本当に今日は、知事もそうでありますし、各出席者の方から、ほとんどの方々が風評対策という被害の話がございました。これは12市町村、あるいはその浜通りだけではなくて、福島県全体の話でもございますので、大変重要な課題だと考えておまして、私の方からもしっかりタスクフォースなど

開きながら、しっかり取り組んでいくという話もさせていただいたところ
でございます。

(問) 具体的な協議内容については、こういった点を、今のところ想定して
いますか。

(答) 一つに、やはりタスクフォースですから、これまでも当然、それぞれの
省庁でやってきておりますけれども、一体となって、どのような形で更にこ
の風評対策ができるかというような、そんなことを中心にタスクフォースを
開いていきたいというふうに思っています。

(問) 再生基本方針の改訂をという声が今回もということでしたけれども、い
つごろまでにそのめどを出したいというふうにお考えでしょうか。

(答) まだちょっとその具体的などころまでいっていませんけれども、福島県
からはそういう要望があるということは認識しておりますので、適切に対応
していきたいというふうに考えています。

(問) これは参院選まで、夏までにという認識をお持ちですか。

(答) まだ、その時期については、先ほど申し上げたとおりでありますけれど
も、今後、福島県ともよく相談しつつ、考えていきたいというふうに思っ
ています。

(以 上)